

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用薬剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症の場合の供血者保管抗体(抗原、抗体、NAT)(投与時点)	供血者発症の場合の検査	
隔転事例																										
3-0900009	A-08000852	2009/2/6	2009/2/18	人血小板濃厚液(放射線照射)新鮮凍結人血漿人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	20	血液腫瘍	B型肝炎	08/05-09 08/05-09 08/06-07	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(+)	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(+)		HBV-DNA(-) (08/06) HBV-DNA(+) (09/01)	陰性(輸血前)陽性(輸血後)	保管抗体23本全部HBV-DNA(-)		調査結果を受けて担当医より「副作用・感染症との因果関係ありと考える」とのコメントが得られた。	100単位 45単位 8単位	19/23(18人はHBV関連検査陰性、1人はHBs抗体のみ陽性であり、当該献血時においても同様であった。)	14本の原料血漿を製造。原料血漿は3本確保済みで、2本破棄済み。	原料血漿は9本使用済み。	重篤	未回復			
3-0900013	A-08000857	2009/3/4	2009/3/18	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR新鮮凍結人血漿-LR	女	80	外傷整形外科的疾患	B型肝炎	08/11-12 08/11	HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) (08/11)	陰性(輸血前)陽性(輸血後)	保管抗体7本全部HBV-DNA(-)			7単位 3単位	1/7 (HBV関連検査陰性)	4本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LR、2本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿、新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。赤血球濃厚液-LRは1本廃棄済み。	赤血球濃厚液-LRは1本は医療機関へ供給済み。	重篤	調査中				

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用薬剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症の場合の供血者保管抗体(抗原、抗体、NAT)(投与時点)	供血者発症の場合の検査
3-0900015	A-08000859	2009/3/5	2009/3/18	人血小板濃厚液(放射線照射)人赤血球濃厚液-LR人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR新鮮凍結人血漿	女	71	循環器疾患	B型肝炎	08/05 08/05 08/05	HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBsAb(-)	HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAb(+) HBsAb(+) HBsAg(+)	HBV-DNA(-) (08/05)	陰性(輸血前)陽性(輸血後)	保管抗体10本全部HBV-DNA(-)			5単位 6単位 2単位 4単位	8/10 (HBV関連検査陰性)	5本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LR、4本の赤血球濃厚液-LRを製造。	原料血漿、は全て使用済み。新鮮凍結血漿-LR、赤血球濃厚液-LRは全て医療機関へ供給済み。	非重篤	回復したが後遺症あり			
3-0900017	A-08000862	2009/3/11	2009/3/24	人血小板濃厚液(放射線照射)人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	血液腫瘍	B型肝炎	08/09- 09/01 08/09-09/01	HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(-)	HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAb(+) HBsAb(+) HBsAg(-)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBsAb(-) HBsAg(-) HBsAg(-)	陰性(輸血前)陽性(輸血後)	保管抗体21本全部HBV-DNA(-)		被疑薬20本で情報を入手し2009年3月11日にFAX報告を行ったが、その後医療機関からの申し出により被疑薬1本が追加された。	200単位 16単位	9/21 (HBV関連検査陰性)	20本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿、新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。		重篤	未回復			
3-0900024	A-09000021	2009/4/3	2009/4/14	新鮮凍結人血漿-LR人赤血球濃厚液-LR人血小板濃厚液(放射線照射)人赤血球濃厚液	男	10	外傷整形外科的疾患	B型肝炎	08/11 08/11 09/03 09/03	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAb(-)	HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAb(+) HBsAb(+) IgM-HBsAb(+) HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAb(+)	HBV-DNA(-) (08/11)	陰性(輸血前)陽性(輸血後)	保管抗体37本全部HBV-DNA(-)	ポリエチレングリコール処理免疫グロブリン		22単位 42単位 75単位 10単位	11/37 (HBV関連検査陰性)	23本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿-LR、11本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿、新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。	赤血球濃厚液-LRは全て医療機関へ供給済み	重篤	軽快			

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症との場合の供血者保管検体(抗体、NAT)(投与時点)	供血者発症との場合の供血者の検査値	
3-090002	A-0900020	2009/4/1	2009/4/14	人赤血球濃厚液-LR	女	80	循環器疾患	B型肝炎	07/08	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (07/08)	HBsAg(+) (09/03)	-	-	-	保管検体2本全部HBV-DNA(-)		2単位	1/2(HBV関連検査陰性)	2本の原料血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。	非重篤	未回復				
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																										
3-090001	A-08000853	2009/2/6	2009/2/18	人血小板濃厚液(放射線照射)人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	60	血液腫瘍	B型肝炎	08/12 08/12	HBsAg(-) (08/04) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/12)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAb(±) (09/01)	HBV-DNA(+) (08/12)	HBV-DNA(+) (09/01)	陽性(輸血前)陽性(輸血後)	保管検体6本全部HBV-DNA(-)	報告対象外調査結果を受けて担当医より「副作用・感染症との因果関係なしと考える」とのコメントが得られた。	45単位 4単位	4/6(HBV関連検査陰性)	5本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿、新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。	-	非重篤	軽快				
3-090001	A-08000855	2009/2/9	2009/2/20	人赤血球濃厚液-LR新鮮凍結人血漿-LR	女	70	その他の疾患	B型肝炎	08/09 08/09	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/09)	HBV-DNA(+) (09/01)	-	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (09/02)	陰性(輸血後)	保管検体5本全部HBV-DNA(-)		3単位 2単位	2/5(1人はHBV関連検査陰性、1人はHBs抗体のみ陽性であり当該献血時においても同様であった)	3本の原料血漿、2本の赤血球濃厚液-LRを製造。原料血漿は全て確保済み。	赤血球濃厚液-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	不明				
3-090001	A-0900016	2009/3/24	2009/4/7	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR人血小板濃厚液(放射線照射)	女	70	血液腫瘍	B型肝炎	08/05 08/05	HBsAg(-) HBcAb(-) (07/12)	HBsAg(-) (08/09) HBsAg(+) (09/03) HBV-DNA(+) (09/03)	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAg(-) HBcAb(-) (08/04)	-	陽性(輸血前)陽性(輸血後)	保管検体11本全部HBV-DNA(-)	乾燥スル化人免疫グロブリン	4単位 90単位	10/11(HBV関連検査陰性)	11本の原料血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。	重篤	未回復				

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発症との場合の供血者保管検体(抗体、NAT)(投与時点)	供血者発症との場合の供血者の検査値	
3-090002	A-0900022	2009/4/6	2009/4/20	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	80	消化器腫瘍血液疾患	B型肝炎	08/12	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (08/12)	HBV-DNA(+) (09/03)	HBV-DNA(-) (08/12)	HBV-DNA(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-)	陰性(輸血前)陰性(輸血後)	保管検体5本全部HBV-DNA(-)			10単位	1/5(HBV関連検査陰性)	5本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	-	重篤	軽快			
陽転未確認事例																										
3-090001	A-08000858	2009/3/5	2009/3/18	人赤血球濃厚液(放射線照射)人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	70	血液腫瘍	B型肝炎	05/03 08/08	HBsAg(-) (08/04) HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) (09/02)	-	-	調査なし	保管検体3本全部HBV-DNA(-)				4単位 2単位	2/3(HBV関連検査陰性)	2本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は1本確保済み。	原料血漿は1本使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。	非重篤	調査中			
3-090002	A-0900023	2009/4/8	2009/4/21	新鮮凍結人血漿人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	外傷・整形外科的疾患呼吸器疾患？循環器疾患	B型肝炎	06/04	HBsAg(-) (06/06) HBsAg(+) (09/03) HBV-DNA(+) (09/03) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) IgM-HBcAb(-) (09/03) HBsAg(+) (09/04)	-	-	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (09/03)	陽性(輸血後)	保管検体7本全部HBV-DNA(-)		10単位 4単位	5/7(HBV関連検査陰性)	7本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿、5本の赤血球MAPを製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿-LRは全て医療機関へ供給済み。	重篤	不明				
輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)																										
供血者陽性事例																										
(該当例なし)																										

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発選及の供血者(抗体、NAT)(投与時点)	供血者発選及の供血者の検査値	
陽転事例																										
3-0900021	A-0900019	2009/3/31	2009/4/14	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	70	その他の疾患(脳梗塞遺症)消化器腫瘍	C型肝炎	08/10-11	HCV-Ab(-)(06/11)	HCV-Ab(-)(09/01) HCV-Ab(+)(09/03) HCV-RNA(+)(09/03)	-	HCV-RNA(+) HCV-Ab(+)(09/03)	陽性(輸血後)	保管検体9本全部 HCV-RNA(-)		16単位	3/9(HCV関連検査陰性)	9本の原料血漿を製造。原料血漿はすべて確保済み			非重篤	未回復			
輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性																										
3-0900012		2009/2/16 2009/02/27 FAX報告破棄		人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	90	外傷・整形外科的疾患	C型肝炎	08/10	HCV-Ab(-)(08/10)	HCVコアAg(+)(09/02) HCV-Ab(-)(09/02)	-	HCV-RNA(-) HCV-Ab(-)(09/02)	陰性(輸血後)	保管検体3本全部 HCV-RNA(-)		4単位	0/3	2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿-LRを製造。原料血漿、新鮮凍結血漿-LRは全て確保済み。			非重篤	不明			
3-0900023		2009/4/3 2009/4/15 FAX報告破棄		人赤血球濃厚液-LR	女	70	消化器腫瘍	C型肝炎	08/11	HCV-Ab(+)(08/10) HCVコアAg(-)(08/11)	HCV-RNA(+)(08/12) HCVコアAg(+)(09/02) HCV-Ab(+)(09/02)	HCV-RNA(+)(08/11)	HCV-RNA(+)(09/02)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体3本全部 HCV-RNA(-)		5単位	0/3	3本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。			非重篤	軽快			
陽転未確認事例																										
(該当例なし)																										
輸血によるHIV感染報告例(疑い例を含む。)																										
(該当例なし)																										

7 / 9

日赤番号	識別番号	FAX受付日	報告日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	日赤投与前検査	日赤投与後検査	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※	感染症等転帰	転帰	供血者発選及の供血者(抗体、NAT)(投与時点)	供血者発選及の供血者の検査値							
輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)																																
3-09000808	A-08000850	2009/1/29	2009/2/10	人血小坂濃厚液(放射線照射)	女	70	その他の疾患	細菌感染	09/01		輸血施行。(血小坂製剤をシリンジに分取し、6mLを4時間で投与。) 同日、追加で輸血施行。(血小坂製剤残液よりシリンジに分取し、6mLを6時間で投与。) 輸血終了10時間後、気管内吸引から出血が見られ、急性心不全、肺腫血の状態となり血液検査でCRP1.13と上昇。 敗血症によるショックを考へ治療を行うも効果なく血圧低下。敗血症性ショック、急性心不全にて死亡。 院内にて実施の患者血液培養よりBacillus cereusを同定。院内にて実施した当該製剤の細菌培養は陰性。	輸血施行。(血小坂製剤をシリンジに分取し、6mLを4時間で投与。) 同日、追加で輸血施行。(血小坂製剤残液よりシリンジに分取し、6mLを6時間で投与。) 輸血終了10時間後、気管内吸引から出血が見られ、急性心不全、肺腫血の状態となり血液検査でCRP1.13と上昇。 敗血症によるショックを考へ治療を行うも効果なく血圧低下。敗血症性ショック、急性心不全にて死亡。 院内にて実施の患者血液培養よりBacillus cereusを同定。院内にて実施した当該製剤の細菌培養は陰性。											人清アルブミン		10単位		1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。			重篤	死亡(敗血症性ショック、急性心不全にて死亡、剖検なし。死亡と本剤との関連性なし。(担当医の見解)	





No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		適及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
31	2006/01/02	22	F	12	-	-	+	有	ウシレバー、ウシ精肉	十分加熱	無	
32	2006/01/06	68	M	20	-	-	+	無	ウシレバー、ブタホルモン、ヒツジ精肉	半生	無	
33	2006/01/13	36	M	42	-	-	+	無	ウマ精肉、不明レバー、ウシ精肉、ヒツジ精肉、ウシレバー、ブタ精肉、ブタホルモン	生、半生、十分加熱	無	
34	2006/01/18	53	M	238	+	+	+	有	ウシレバー、ウシホルモン	十分加熱	無	
35	2006/01/13	31	M	43	-	-	+	有	不明レバー、ブタ精肉、ヒツジ精肉	半生、十分加熱	無	
36	2006/01/17	48	M	25	-	-	+	無	回答なし		無	
37	2006/01/25	52	M	25	-	-	+	無	不明レバー、ヒツジ精肉	十分加熱	有	輸血後89日現在、HEVマーカーの陽転は見られず追跡調査終了
38	2006/01/30	39	F	22	-	-	+	無	回答なし		無	
39	2006/01/30	25	M	32	-	-	+	有	ウシ精肉、ウシホルモン、ブタ精肉	十分加熱	無	
40	2006/02/02	39	F	35	-	+	+	有	ウシレバー、ウシレバー、ヒツジ精肉	生、半生、十分加熱	無	
41	2006/02/07	57	M	13	-	-	+	無	不明	不明	無	
42	2006/02/07	40	F	172	+	+	+	無	ウシ精肉	十分加熱	無	
43	2006/02/17	39	M	28	-	-	+	無	ブタホルモン、ブタレバー、ブタガツ、ヒツジ精肉、イノシシ精肉、ブタ精肉	半生、十分加熱	無	
44	2006/02/20	58	M	22	-	-	+	無	ヒツジ精肉	十分加熱	無	
45	2006/02/21	45	M	30	-	-	+	無	ウシ精肉、ブタ精肉、ブタレバー、ヒツジ精肉	半生、十分加熱	無	
46	2006/03/01	48	F	15	-	-	+	無	回答なし		無	
47	2006/03/01	50	F	29	-	-	+	無	回答なし		無	
48	2006/03/02	54	M	47	+	+	+	無	ウシ・ブタ(精肉、レバー、ホルモン)、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
49	2006/03/27	40	F	12	-	-	+	無	回答なし		無	
50	2006/04/01	31	F	16	-	-	+	有	ヒツジ精肉	半生	無	
51	2006/04/04	30	F	14	-	-	+	有	ブタ精肉、不明レバー	十分加熱	無	
52	2006/04/12	38	M	45	+	+	+	有	ブタレバー、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
53	2006/04/18	21	M	26	-	-	+	有	ウシ精肉、ウシホルモン、ウシ精肉、ウシホルモン	半生、十分加熱	無	
54	2006/04/22	28	M	14	+	+	+	有	回答なし		無	
55	2006/04/26	46	M	19	-	-	+	有	ブタレバー	半生	無	
56	2006/05/18	62	M	27	-	-	+	有	ヒツジレバー	十分加熱	無	
57	2006/07/07	17	M	33	-	-	+	有	回答なし		無	
58	2006/07/11	34	F	10	-	-	+	有	回答なし		無	
59	2006/07/12	21	F	27	-	-	+	有	回答なし		無	
60	2006/07/22	49	M	46	+	-	+	有	ウシ精肉、ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診該当※1	喫食歴調査		適及対象供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
61	2006/08/01	62	M	18	-	-	+	有	ブタホルモン、ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
62	2006/09/06	44	F	14	-	-	+	有	喫食歴なし		無	
63	2006/09/29	68	M	15	-	-	+	有	ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
64	2006/10/21	29	M	22	-	-	+	有	不明		無	
65	2006/11/19	48	M	58	-	-	+	有	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
66	2006/11/23	54	M	18	-	-	+	有	回答なし		無	
67	2006/12/01	43	M	55	-	+	+	有	ブタ精肉	十分加熱	無	
68	2006/12/04	60	M	46	+	+	+	有	ウシ精肉	十分加熱	無	
69	2006/12/04	47	M	40	+	+	+	有	ウシ精肉、ウシホルモン	十分加熱	無	
70	2007/03/01	33	M	41	-	-	+	有	ウシレバー	生	無	
71	2007/03/15	42	M	32	-	+	+	有	ブタレバー、ブタホルモン	半生	無	
72	2007/03/27	55	M	30	-	-	+	有	不明レバー	十分加熱	無	
73	2007/04/07	22	F	9	-	-	+	有	ユッケ、ウシホルモン、ヒツジホルモン	生、十分加熱	無	
74	2007/05/16	47	F	15	-	-	+	有	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
75	2007/05/18	40	F	27	+	+	+	有	ブタ生ハム(自家製)	半生	無	
76	2007/05/30	33	M	26	-	+	+	有	ヒツジ精肉、ブタホルモン	十分加熱	無	
77	2007/06/22	38	M	20	-	-	+	有	ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
78	2007/06/25	45	M	37	+	+	+	有	ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱、半生	無	
79	2007/06/27	37	M	18	-	-	+	有	ブタ精肉	十分加熱	無	
80	2007/07/24	57	M	24	-	-	+	有	喫食歴なし		無	
81	2007/07/29	37	M	48	-	-	+	有	不明レバー、ブタホルモン、不明レバー、ブタホルモン	十分加熱、半生	無	
82	2007/07/31	48	M	30	-	-	+	有	ブタ精肉、ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
83	2007/08/01	48	M	33	-	-	+	有	ブタ精肉、ウシ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱、半生	無	
84	2007/08/04	53	M	28	-	-	+	有	ヒツジ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱、半生	無	
85	2007/08/26	50	M	60	-	-	+	有	ヒツジ精肉、ウシ精肉	十分加熱、生	無	
86	2007/09/05	41	M	29	-	-	+	有	喫食歴なし		無	
87	2007/09/18	41	M	23	-	-	+	有	ウシ精肉、ブタ精肉、ウシホルモン、ブタホルモン	半生	無	
88	2007/09/21	57	M	19	-	-	+	有	ブタホルモン	十分加熱	無	
89	2007/10/03	59	M	39	-	-	+	有	ブタレバー、ブタ精肉	十分加熱	無	
90	2007/10/03	19	M	40	-	-	+	有	喫食歴なし		無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		罹患対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
91	2007/10/09	35	M	19	-	-	+	△	ブタ精肉	十分加熱	無	
92	2007/10/18	30	M	31	-	-	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
93	2007/11/16	24	M	5	-	-	+	△	不明		無	
94	2007/11/16	54	M	22	-	+	+	△	ブタホルモン、ブタレバー	十分加熱	無	
95	2007/11/16	45	M	47	-	-	+	△	ブタ精肉 ブタレバー	十分加熱 半生	無	
96	2007/11/19	58	M	13	-	-	+	△	レバー、ホルモン	不明	無	
97	2007/11/19	24	M	46	-	-	+	△	不明		無	
98	2007/11/24	36	M	25	-	-	+	△	不明		無	
99	2007/11/29	42	M	21	-	+	+	△	不明		無	
100	2007/11/30	31	M	42	+	+	+	△	レバー	不明	無	
101	2008/01/08	35	M	36	-	-	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
102	2008/01/17	48	F	13	+	+	+	△	ブタホルモン、シカ精肉 ウシ精肉	十分加熱 半生	無	
103	2008/01/29	57	M	22	-	-	+	△	ブタレバー、ブタホルモン	十分加熱	無	
104	2008/02/04	31	M	47	+	+	+	△	不明		無	
105	2008/02/06	57	M	20	-	-	+	△	ブタホルモン	十分加熱	無	
106	2008/02/13	42	M	35	-	-	+	△	不明レバー	十分加熱	無	
107	2008/02/13	60	M	37	+	+	+	△	不明		無	
108	2008/03/11	30	M	21	-	-	+	△	不明		無	
109	2008/03/25	34	F	26	-	-	+	△	喫食歴なし		無	
110	2008/03/26	32	M	41	+	+	+	△	ブタ精肉、ウシ精肉	十分加熱	無	
111	2008/03/29	54	M	26	-	-	+	△	ブタ精肉	十分加熱	無	
112	2008/03/30	19	F	9	-	-	+	△	不明レバー	十分加熱	無	
113	2008/04/16	48	M	13	-	-	+	△	不明		無	
114	2008/05/12	33	M	12	-	-	+	△	ブタ精肉、ブタホルモン	半生	無	
115	2008/05/28	39	F	29	-	-	+	△	不明		無	
116	2008/05/28	47	M	46	-	-	+	△	ブタホルモン	十分加熱	無	
117	2008/06/04	43	M	38	+	+	+	△	ウシレバー ウシホルモン、ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	生 十分加熱	無	
118	2008/06/07	42	M	11	-	-	+	△	ウシレバー ブタ精肉	生 十分加熱	無	
119	2008/06/23	48	M	17	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生	無	
120	2008/07/10	39	M	32	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉 ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	半生 十分加熱	無	

No.	採血日	年齢	性別	ALT (IU/L)	HEV抗体		HEV RNA	問診 該当 ※1	喫食歴調査		罹患対象 供給製剤	受血者情報
					IgM	IgG			肉の種類	食べ方		
121	2008/07/11	39	M	28	-	-	+	△	不明		無	
122	2008/07/26	34	M	35	-	-	+	△	ウシ精肉、ブタ精肉	十分加熱	無	
123	2008/07/27	36	M	45	-	-	+	△	不明		無	
124	2008/07/30	24	M	10	-	-	+	△	不明		無	
125	2008/08/20	19	M	17	+	-	+	△	不明		無	
126	2008/09/03	30	M	28	-	-	+	△	不明		無	
127	2008/09/08	35	M	16	-	-	+	△	不明		無	
128	2008/09/09	23	F	24	-	-	+	△	ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
129	2008/09/16	33	F	18	+	+	+	△	不明		無	
130	2008/09/16	58	M	21	-	-	+	△	不明		無	
131	2008/09/17	62	M	37	-	-	+	△	ウシレバー、ブタレバー	十分加熱	無	
132	2008/09/23	42	M	36	-	-	+	△	ブタ精肉、ブタレバー	十分加熱	無	
133	2008/09/25	35	M	16	-	-	+	△	不明		無	
134	2008/09/27	30	M	22	-	-	+	△	不明		無	
135	2008/10/10	50	M	31	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	不明	無	
136	2008/10/11	39	F	15	-	-	+	△	ウマ精肉	生	無	
137	2008/10/14	56	M	13	-	-	+	△	不明レバー	生	無	
138	2008/10/18	38	F	23	-	-	+	△	不明		無	
139	2008/11/03	37	M	22	-	-	+	△	ウシホルモン、ブタ精肉	半生	無	
140	2008/11/11	41	F	11	-	-	+	△	不明		無	
141	2008/12/05	52	M	18	-	-	+	△	ブタレバー	十分加熱	無	
142	2008/12/20	47	M	22	-	-	+	△	ウシ、ブタ、ヒツジ精肉	十分加熱	無	
143	2009/01/13	50	M	27	-	-	+	△	ウシ、ブタ(精肉、レバー、ホルモン)	十分加熱	無	
144	2009/01/27	55	M	17	-	-	+	△	不明		無	
145	2009/02/11	37	M	28	-	-	+	△	不明ホルモン	十分加熱	無	
146	2009/02/16	59	F	23	-	-	+	△	ブタレバー	不明	無	
147	2009/02/23	20	F	42	-	+	+	△	ウシ、ブタ精肉	半生	無	
148	2009/03/11	29	M	49	-	-	+	△	ブタレバー、ホルモン	十分加熱	無	

※1: 問診喫食歴調査内容

05年 1月1日～05年10月31日: 「過去3ヶ月以内にブタ、シカ、イノシシあるいは動物種不明の生肉、生レバーの喫食歴」

05年11月1日～06年03月31日: 「過去3ヶ月以内に生肉(半生も含む)、レバー、ホルモン(動物種、焼き方を問わず)の喫食歴」、なお本調査は06年03月31日をもって終了

査結果。来訪がなければ、その旨。

5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
10. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV（C型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
11. 試行的HEV20プールNA Tについて、その後の調査実施状況。

血安第185号

平成21年4月21日

厚生労働省医薬食品局血液対策課長 様

日本赤十字社  
血液事業本部長

血液製剤に関する報告事項について（回答）

平成21年4月16日付事務連絡によりご依頼のありました標記の件については、下記により回答いたします。

記

1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る2人のその後の来訪なし。（8名中6名が来所、検査は全て陰性）
2. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る5人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る5人のその後の来訪なし。（37名中32名が来所、検査は全て陰性）
3. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る8人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 1人がその後献血に協力頂き、検査は陰性。残る7人の来訪なし。（48名中41名が来所、検査は全て陰性）
4. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る4人のその後の来訪なし。（16名中12名が来所、検査は全て陰性）
5. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。

- ⇒ 残る1人のその後の来訪なし。(追跡調査対象の4名中3名が来所、HBV-DNAは全て陰性。1名はHBc抗体がEIA法のみ陽性HI法陰性、その他の者は全て陰性)
6. 平成17年6月23日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る4人のその後の来訪なし。(20名中16名が来所、検査は全て陰性)
7. 平成18年4月7日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る9人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る9人のその後の来訪なし。(53名中44名が来所、HBV-DNAは全て陰性。2名はHBc抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性)
8. 平成18年6月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る2人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 1人がその後献血に協力頂き、検査は陰性。残る1人の来訪なし。(29名中28名が来所、HBV-DNAは全て陰性。2名はHBc抗体及びHBs抗体陽性、1名はHBs抗体のみ陽性、その他の者は全て陰性)
9. 平成19年2月20日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV(B型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る1人のその後の来訪なし。(3名中2名が来所、検査は全て陰性)
10. 平成18年2月15日報告、3月8日付けで追加報告された輸血用血液製剤でHCV(C型肝炎ウイルス)感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。  
⇒ 残る3人のその後の来訪なし。(81名中78名が来所、検査は全て陰性)
11. 試行的HEV20プールNATについて、その後の調査実施状況。  
⇒ 別紙のとおり

